

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

【事業所概要（事業所記入）】			
事業所番号	3577200540		
法人名	特定非営利活動法人　ありがとさん		
事業所名	グループホーム　だんけぐーと		
所在地	岩国市周東町下久原407番		
自己評価作成日	平成22年5月26日	評価結果市町受理日	平成23年3月28日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度ホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	http://kaigosip.pref.yamaguchi.lg.jp/kaigosip/Top.do
----------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 やまぐち介護サービス評価調査ネットワーク
所在地	山口県山口市吉敷下東3丁目1番1号 山口県総合保健会館内
訪問調査日	平成22年6月28日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

【1F】 ゆっくり一緒に 楽しくをモットーに利用者さん1人1人に合わせた支援を心がけています。介護する人される人の関係ではなく一緒に生活する人としての目配り、気配り、心配り、思いやりを胸に穏やかな笑顔で係わっていきます。職員の質の向上を目指し、院内、外部研修への参加、主任会議、スタッフミーティング、ケアプラン会議の実施、資格取得には他職員の協力もあり職員一丸となり取り組んでいます。 【2F】 "ゆっくり一緒に楽しく"をモットーに、利用者さん1人ひとりに合わせた支援を心掛けています。認知症を疾患として正確に捉えた上で、その人にとって当たり前の生活が出来るよう、お手伝いさせて頂いています。介護する人、される人の関係ではなく、一緒に生活している人として、目配り・気配り・心配り、そして思いやりを胸に、穏やかな笑顔で係わっていきます。意欲的なスタッフが多く、様々なアイデアを出し合い、楽しいイベントや、ちょっと個性的なケアプランを実施しています。プリセプター方式の導入、年間のテーマを決めて取り組む院内研修の実施や、外部研修にも積極的に参加し、人材育成にも力を入れています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

地域との交流や協力体制づくりに取り組み、地域の災害等の緊急連絡網に加わるなど、地域防災についても話し合いが行なっておられます。月一回の職員と利用者による周辺のごみ拾いや毎月行なわれる地域交流会では介護ボランティアの養成や地域福祉、認知症介護の勉強会などで地域との交流や協力体制を構築されています。医療については、家族や本人が希望する医師を主治医とし、受診の際は現状や課題などを記した手紙と一緒に手渡し、主治医からも返事が戴けるなどの連携体制があり、適切な医療が受けられるよう支援されています。職員を育てる取り組みとしては内部研修として、新人や現任の教育研修の仕組みを確立され、資格取得の支援や資格手当制度と共に人事考課も職員のやる気やモチベーションを高めるものとして位置づけられています。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目№1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓ 該当するものに○印	
57	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	64	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
58	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	65	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
59	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
60	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員は、生き活きと働けている	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	69	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
63	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

自己 外部	項 目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
理念に基づく運営					
1 1F	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の1つとして「私たちは今もっている力で地域住民の一員として暮らしていけるお手伝いをします。」と掲げています。	利用者が地域の一員として暮らしていけるように、地域密着型サービスの理念にそった事業所独自の理念をつくり、管理者や職員は、その理念を共有しながら、日々実践につなげている。	
1 2F	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「私たちは、今持っている力で、地域住民の一員としえ暮らしていけるお手伝いをします。」と掲げており、施設内研修等で理念を再確認し、共有している。		
2 1F	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	利用者さんと職員で作成した手作り品を交流会参加のお土産にしたり、交通安全週間にはグループホームとしてお守りを贈呈しています。月に1度周辺のゴミ拾いをしています。	自治会には加入していないが、地域の緊急連絡網の中には入っており、地域から認められ支えられている。毎月利用者と職員で行なう地域のごみ拾いや、地域交流会で地域と交流を持ち、納涼祭の参加者へのお土産や交通安全週間のお守りを作り、プレゼントするなどの交流をしている。	
2 2F	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回、法人で開催されている地域交流会に参加し、地域の方々との交流をもっている。地域の清掃活動や保育園の行事に参加させて頂いている。近所の方からお米を頂いている。交通安全週間に、警察署へ手作りのお守りを贈呈した。		
3 1F		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	毎月1回地域交流会を開催し、地域の方に役立つ介護教室や健康体操などを実施し地域の方と利用者さんとの交流の場を作っています。		
3 2F		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	月1回、地域交流会を開催し、地域の方々に役立つような介護教室を実施している。		

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
4 1F	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	研修等に参加して理解しています。ミーティング時に全職員に説明し、自己評価も全職員の意見取り入れています。結果報告も行った改善点は全職員で話し合い改善に取り組んでいます。	ミーティングで全職員に説明し、評価の意義や視点を理解しながら、職員全員で評価に取り組んでいる。評価によって日々行なっているケアの改善点に気付かされ、改善に取り組んでいる。	
4 2F	(3)	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	研修等に参加し、理解している。自己評価も全員の意見取り入れている。評価によってみえた改善点も、見直しを行い、職員の意識を合わせて積極的に取り組んでいる。		
5 1F	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方、御家族の意見を伺いサービスに活かしています。	2ヶ月に1回、10名程度で、定期的開催し、事業所の状況報告や災害時についての話し合いが行われ、地域防災や避難、災害本部との連携についても話し合われている。	
5 2F	(4)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	10名程度で、2ヶ月に1回開催。ホームからの近況報告、要望や意見交換をしながら非難や緊急時通報システムなど地域防災についても話し合っている。		
6 1F	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町の担当者と相談しながら、ケアサービスの向上に取り組んでいます。	市直轄の地域包括支援センターや市の担当者に相談しながら協力関係を築き、助言や提言はサービスに活かしている。	
6 2F	(5)	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市・町の担当者と密に連絡を取り合い、相談し、助言を頂きながらサービスの質の向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
7 1F	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員で学び共通理解をするようにしています。日中は玄関や窓は施錠していません。抑制や拘束の無いケアに取り組んでいます。	外部研修や全職員参加の内部研修で身体拘束を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。玄関の施錠はしていない。	
7 2F	(6)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員全員参加の院内研修で身体拘束の内容とその弊害を再確認し、身体的・精神的拘束や抑制のないケアに取り組んでいる。日中、玄関の施錠はしていない。		
8 1F		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修への参加、院内研修の実施で職員全員で学び共通理解をするようにしています。		
8 2F		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部研修へ参加、院内研修で学び、共通理解をするようにしている。		
9 1F		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉事務所に相談できるよう支援しています。		
9 2F		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	社会福祉士事務所に教えて頂いています。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書、重要事項説明書を読みわかりやすく説明しています。会う機会を多くして理解を得られるようにし、質問があれば納得していただけるまで説明します。		
1F					
10		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約書・重要事項説明書を読んで、分かりやすく説明している。不安や疑問を尋ね、十分な理解が得られるようにしている。		
2F					
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者さん、ご家族が遠慮なく苦情、不満を職員に言えるような関係づくりを心がけています。その内容については全職員が周知しケアに反映しています。第三者苦情機関を設置しています。	苦情や意見が表しやすい関係作りや環境整備を行い、苦情解決の対応マニュアルを作成している。面会時に家族から出た意見は、職員で話し合っ共有し、改善に取り組んでおり、事業所独自の外部苦情申し立て機関も設置している。	
1F					
11	(7)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等からの相談、苦情の受付体制や処理手続きを定め周知するとともに、意見や要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者・ご家族の方々が遠慮なく苦情や不満などを職員に言って頂けるような関係作りを心掛けている。また、その内容については、全職員が周知できるように申し送り、ケアに反映させている。第三者苦情機関を設置している。		
2F					
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	日常の会話やミーティング、理事長、統括管理者との面談などで、意見交換や、情報収集をし、反映させています。	スタッフ全員参加の毎月のミーティングや主任会議、理事長との面談で意見交換を行い、その意見を運営に反映させている。年2回は税理士も交えて経営に係る話し合いも行なわれ、職員の提案や意見は活かされている。	
1F					
12	(8)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	スタッフ全員参加の月1回ミーティング、主任会議や理事長との面談等で意見交換し、反映させている。		
2F					

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	自己評価表、自己管理シートを活用して1年間の目標を立て、各自目標に向かって努力し、評価して、管理者と面談を行っています。可能な限り勤務希望を受け入れ、連休等でリフレッシュできるよう調整しています。懇親会等を行い風通しのよい職場環境作りを心がけています。		
13		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各ユニットの入居さんの状態により、スタッフの配置を変えたり、勤務時間をずらす、残業を少なくするための取り組みも行っている。		
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は年間のテーマを決め毎月1回行っています。外部研修には積極的に参加できるよう働きかけています。新職員の育成にはプリセプター方式をとりいれています。年に1度は外部より講師を招き勉強会を行っています。救命救急講習も行っています。	内部研修は計画的に毎月1回実施されており、外部研修や資格取得についても推奨され支援されている。新人職員養成カリキュラムが作成され、雇用期間に応じ到達度を測定し、プリセプター方式も取り入れ、地域交流会で認知症や介護に係る講義を行う等、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	
14	(9)	○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	院内研修は、年間のテーマを決め、毎月1回行っている。外部研修には積極定期参加できるように働き掛けている。新職員の育成には、プリセプター方式を取り入れている。年1回、外部講師を招き、勉強会を行っている。救命救急講習も行っている。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会岩柳地区に参加し他施設の職員と交流をもち勉強会、講習会にも参加しています。新施設、他施設からの研修も受け入れています。		
15		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡会に参加し、他施設の職員と交流を持ったり、勉強会、講演会などに参加している。事例発表も行った。新施設や他施設からの研修も受け入れている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
16	1F	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に事前訪問をしたり、体験入所をしてもらい信頼関係が築けるよう努力しています。入所後にはセンター方式を活用しながらパーソンセンタードケアに努めるようにしています。		
16		2F	○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前に訪問したり、体験入所をしてもらい、ご本人から心配事や困っている事を聞き、想いを受け止め、信頼関係を築けるように努めている。	
17	1F	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から、利用後もよく話し合い、信頼関係が築けるように努めています。入所前より頻繁に面談し、十分にコミュニケーションを取るようにしています。		
17		2F	○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	最初の相談から利用後もよく話し合い、心配事や不安な事、疑問なども聴き、信頼関係を築けるように努めている。入所前より頻繁に面談し、コミュニケーションをとるようにしている。	
18	1F	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人さん、御家族と面談し、意向を十分にひきだせるように努力し的確な支援の見極めに努めています。		
18		2F	○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人やご家族のお話を聞いて、何に困っているのか、何が必要なのか、意向を充分引き出せるように努め、他のサービス利用も組み込みながら、その人に合った対応を心がけている。	
19	1F	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人さんの得意なこと(料理、家事)をしていただきスタッフも学びながら、お互いに協力し、助け合っているという関係を築いています。		
19		2F	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	何かを一緒に作業する時には、常に教えて頂く姿勢で接し、一緒にゆっくり楽しく生活している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	1F	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、ケアプラン説明時に御家族と相談しながらご本人を支えていける関係作りを心がけています。ご家族の要望、意見を積極的に取り入れたり面会時には食事介助や居室の整理も手伝っていただいています。		
20	2F	○ 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面接時や電話時、行事等でコミュニケーションの機会を設けている。ケアプラン説明時など、ご家族のご要望を聞き、相談しながら、本人さんの支えていける関係作りをしている。		
21	1F	(10) ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人さんの馴染みの場所をドライブしたり、スタッフが同行し、御家族、御友人との関係が継続できるよう支援しています。	友人や知人、家族に訪問してもらい、また来てもらえるように関係作りを支援している。馴染みの場所や希望の場所へのドライブや買い物に出かけたり、馴染みの関係が途切れないように支援をしている。	
21	2F	(10) ○ 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会に来て頂いた時に、最近のご本人の印象に残ったお話をする等、又来たいなと思って頂けるような対応を心掛けている。また、馴染みの場所へ出掛けたり、買い物に出掛けたりしている。		
22	1F	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	座席の位置を配慮し、気の合う入居者さん同士の時間を大切にしています。会話やレクリエーションがスムーズにいき、係わりが持てるようにスタッフが間に入り支援しています。		
22	2F	○ 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握しており、孤立して淋しい思いをされないように、職員が間に入ってフォローしたり、コミュニケーションの場の提供ができるように努めている。		
23	1F	○ 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院後胃ロウ造設され、次の入院先の相談にのりました、死亡時には通夜、葬儀に参列させていただいています。		
23	2F	○ 関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	今年度は退去がなかった。入院・退院後の死亡時には、通夜・葬儀への参列は必ず行っている。		

自己 外部	項目	自己評価	外部評価		
		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
24 1F	(11)	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用し、1人1人の思いや希望を尊重し、無理強いせず、思い思いにゆったりとすごしていただいています。	センター方式を活用し、一人ひとりの思いを把握しており、利用者のペースと希望にそった支援が出来るよう配慮している。困難な場合は家族の意見や生活歴を参考に、本人本位に検討している。	
24 2F	(11)	○ 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	センター方式を利用して、情報収集に努め、1人ひとりの思いや希望を把握し、ご本人のペースに合わせて、思い思いに過ごして頂いている。		
25 1F		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	センター方式を取り入れ、これまでの生活歴や馴染みの暮らし方等を把握しています。面会時には御家族にも伺っています。		
25 2F		○ これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人にどのような暮らしをしておられたのかを聞いたり、普段の会話の中から引き出せるように努めている。また、ご家族が面会にこられた時にお話を伺ったりして、情報収集に努めている。		
26 1F		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアプラン、ケア記録、伝達事項を活用し利用者さん1人1人の現状を把握するよう努めています。		
26 2F		○ 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケア記録や申し送りノートを活用し、スタッフ同士で情報を共有し、その日の様子をみながら、無理のない様に過ごして頂けるよう、1人ひとりの生活リズムを把握するように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人や御家族の意見、気持ちを取り入れながら、担当者が立案し、各職種参加のもと、ケアプラン会議を開き、意見交換しています。6ヶ月を目安に見直しを行い現状に応じた介護計画を立て、御家族に相談、報告を行っています。	利用者と家族の意見を取り入れ、担当者が立案したものを、全職員が参加するケア会議で意見交換を行い、ケアプランを作成している。3ヶ月毎に評価をしながら、6ヶ月毎に見直しをしている。状況の変化に応じた、随時の見直しを行い、現状に即した介護計画を作成している。	
27	(12)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人やご家族の意見や気持ちを取り入れながら、利用者さんの視点に立って、その人らしく暮らしていけるように介護計画を立案し、各職種参加のもと、ケアプラン会議を開催し、意見交換を行っている。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に実践、状態、反応、言動、スタッフの感じたこと、思ったことを記入し、申し送りスタッフ間の情報交換でその後の援助やケアプランに活かしています。		
28		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	ケア記録に日々の状況や様子を記入することや、申し送り・スタッフ間の密な情報交換で、その後の援助やケアプランに活用している。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や医療の活用をしています。		
29		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	24時間の医療連携による健康管理や医療の活用をしている。		

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域のボランティアの方と係わりをもっています。月に1度移動図書館を利用しています。		
1F					
30		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地元の美容院を利用したり、市の移動図書館が月に1回まわって図書の貸し出しをして下さるので、自分で選んで借りる事が出来る。近所にスーパーが出来たので、散歩がてら歩いて買い物にも出かけている。		
2F					
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、御家族の希望される医療機関を利用しています。当施設の看護師と密に連絡を取り合っています。受診時には医師に近況報告をしています。必要に応じてスタッフが付き添っています。	利用者、家族が希望したかかりつけ医を主治医とし、通院時には毎回、主治医宛てに近況報告と問題点を記入した手紙を手渡し、主治医との信頼関係を築いている。主治医からの返事も頂き、適切な医療が受けれるように支援している。	
1F					
31	(13)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・ご家族の希望する医療機関を利用している。受診時には、医師へ手紙をお渡しし、近況報告をしている。必要に応じてスタッフが付き添い受診している。		
2F					
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者さんの健康状態、薬の変更、急変に際し、随時当施設の看護師に報告、相談しています。医療連携体制をとっており、協力病院、看護師と協力体制をとっています。		
1F					
32		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	当施設の看護師と細めに連絡を取り合っており、利用者さんが適切な受診や看護を受けられるように支援している。		
2F					

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	1F	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には介護要約を提供しています。入院中は当施設の看護師が病院関係者と連絡を取り合ったり、本人の状態を診に行っています。御家族からの相談も受けています。		
33	2F	○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には、ご本人のストレスや負担を軽減する為に、サマリーを細かく記入し、情報提供をしている。		
34	(14) 1F	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化方針について充分説明しており重度化、終末期には医師、御家族、本人等ケアカンファレンスを開き方針を話し合い共有しています。終末期には看取りの同意書を交わしています。	重度化については契約時に説明をしている。重度化、終末期には、医師、家族関係者で話し合い、今後の方針を決め、終末期には看取りの同意書を交わしている。	
34	(14) 2F	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	契約時に重度化指針について説明しており、重度化・終末期は、医師・家族・本人・スタッフ等とケアカンファレンスを開き、方針を話し合い、より良い方法を考え、共有している。		
35	(15) 1F	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故があった時は、ひやりハットや事故報告書を作成しスタッフ全員が共有事故防止に努めています。救命講習の実施、避難訓練を実施しています。マニュアルを作成し、いざというときに備えています。	事故があった場合は、ヒヤリはっと・事故報告書で報告し、職員全員で共有し、改善策を話し合い、事故防止に努めている。応急手当や初期対応のマニュアルを作成し、訓練を実施しており、日頃から急変や事故発生に備えた話し合いをしている。	
35	(15) 2F	○事故防止の取り組みや事故発生時の備え 転倒、誤薬、行方不明等を防ぐため、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組むとともに、急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	事故などがあった場合はひやり・はっつや事故報告書を作成し、皆で共有し、事故防止に努めている。また、院内研修や救急救命・避難訓練を実施し、急変や事故発生時に備え、日頃から話し合っている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回消防訓練、非難訓練を行っています。緊急連絡網を作っています。自治会長や近隣住民と災害非難について話し合い風水害地震マニュアルを見直しました。	年2回、消防訓練と避難訓練を実施し、地域の緊急連絡網の活用、自治会長や地域住民との話し合いをしている。災害時には地域の高齢者の避難場所等、地域防災の対応等についても話し合いをしている。	
36	(16)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防訓練や避難訓練を行ったり、運営推進会議で災害時の非難について話し合っている。緊急連絡網を作っている。自治会長や近隣住民と災害訓練について話し合い、院内研修にて全職員に周知。		
、その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者さんに応じて対応しています。トイレの声かけ等プライバシーに配慮しています。入浴時は本人の羞恥心に充分配慮して行っています。	マニュアルを作成し、プライバシー保護について研修をしており、誇りやプライバシーを損ねるような対応はしていない。排泄時や入浴時の羞恥心にも配慮した言葉かけや対応が行なわれている。	
37	(17)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	トイレなどの誘導時は、小聲でさりげなく声掛けをし、プライバシーに配慮している。入浴時は本人の羞恥心に充分配慮して行っている。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんが思いや希望を言われるので出来るだけそれに応えられるような係わりをしています。		
38		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者さんが分かりやすく、また、ご本人の意思が引き出せるような答えやすい言葉がけをするように心掛けている。		

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
39	1F	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者さん1人1人がしたいこと(休みたい、何か手伝いたい等)その方のペースに合わせて1日を過ごしていただいています。		
39	2F	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	1人ひとりご自分のペースで過ごしていただいている。本人の体調に合わせ、無理強いすることなく、柔軟に対応している。		
40	1F	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	訪問美容利用時には、本人さんの希望される髪型や、毛染め、パーマ等個性を大切にしてもらっています。着替えの際声かけをし、一緒に服を選んでいただいています。		
40	2F	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	お化粧をされている方もいらっしゃるし、近所の洋服店へ一緒に行き、好みの洋服を買ったりされる事もある。訪問美容院利用の時は、本人さんの希望する髪型にカットしてもらったりしている。		
41	(18) 1F	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を一緒に考えていただいたり、おにぎりを作ったり、盛り付け、後片付けを職員と一緒にに行っています。	三食事業所でつくり、献立を一緒に考えたり、差し入れで買った野菜の下ごしらえや盛り付け、おにぎり、団子や饅頭、おやつ等を一緒につくり、後片付けも職員と一緒にいき、同じ食事をしながら共に食事を楽しんでいる。	
41	(18) 2F	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理の下ごしらえや、配膳、後片付け等、できる方、好きな方にお手伝いしていただきながら一緒に行っている。また、献立にリクエストがあれば取り入れるようにしており、一緒に楽しく食事ができるようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
42	1F	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスを考え職員が献立を立てています。管理栄養士さんにチェックしてもらっています。食事量を毎日記録し、職員が情報を共有しています。		
42	2F	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者さんの状況を把握し、糖尿病の方や、むせ込みがある方には、食事量の調整やトロミを使用するなど、1人ひとりに合った支援を工夫している。水分摂取の少ない方に対しては、本人の嗜好に合ったもの等を提供し、摂取を促している。		
43	1F	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後声かけをし、口腔ケアを行っています。介助の必要な方には職員がついて口腔ケアを行います。時折歯科衛生士がチェックし早期の歯科受診へ結びつけています。		
43	2F	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、声掛け・介助をし、口腔内の清潔に努めている。週1回、義歯を消毒している。		
44	(19) 1F	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者さんの排泄パターンや習慣を把握し状態に応じたトイレ誘導を行っています。	一人ひとりの排泄パターンや習慣を把握し、誘導の言葉かけに配慮しながら、自立に向けた支援を行っている。ケアパットも何種類か用意し、時や状況に応じ、使い分けをしている	
44	(19) 2F	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄パターンや習慣を把握しながら、それぞれトイレの声掛けや介助を行い、出来るだけトイレで排泄を促し、その方にとって快適でよりよいケア方法を行えるように努めている。また、時間帯や状況によって、パットの種類を使い分けている。		

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	1F	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便の有無をチェックし便秘ぎみの利用者さんにはイーージーファイバーを飲んでいただいたり、水分補給もおこなっています。		
45	2F	○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	食事・水分摂取が難しい場合については、ご本人の嗜好に合わせた物を提供したり、摂取しやすい形態にして提供するなどし、できるだけ薬に頼らないよう対応している。また、散歩やレクにお誘いし、適度な運動を心掛けている。		
46	(20) 1F	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	毎日入浴できるよう、準備しています。不穏状態等で拒否がある場合は、無理強いせず気分を変えていただいたり時間をおいて再度誘ったりしています。	毎日午後から入浴を行い、利用者の希望に合わせて支援をしている。入浴を嫌がる場合は無理強いせず、個々に合わせて対応している。バスマットは一人ひとり別にし、感染症の予防をしている。	
46	(20) 2F	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	利用者さんの体調に合わせて、入浴されている。無理強いせず、希望やタイミングに合わせて入浴できるように支援している。状況に応じ、足浴も行っている。		
47	1F	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中でも眠そうな方には居室で休んでいたたり、夜間ベッドに横になれない方にはその都度臥床介助を行っています。不安がられる方には夜勤者が常にいることを伝え安心していただきます。		
47	2F	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転が起こらない程度に、休みたい時は休んでいたたりしている。また、夜間不眠がみられる方には、日中の活動を増やすなど、夜間安眠できるように支援している。		
48	1F	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員全員が服薬している薬の効能、副作用等の内容がわかるようにファイルしており、薬の変更もすぐにわかるよう申し送りしています。		
48	2F	○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の内容や副作用については、カルテにファイルされ、把握している。服薬の支援と状況の変化の確認に努め、状況が変化した時は、医師や看護師に速やかに連絡し、支持を仰いでいる。		

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者さん1人1人の得意なことを理解し、役割をもて、張り合いのある生活が出来るようにしています。	家事、買い物、納涼祭のお土産づくり、絵、散歩、花や野菜づくり、事業所の敷地内にあるお地蔵様のお参りや花や水の入れ替えなど、一人ひとりの生活歴や力を活かした気分転換や楽しみ事を支援している。	
49	(21)	○活躍できる場面づくり、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理・洗濯・食器の片付け・掃除・レク・散歩・花や野菜作りなど、1人ひとりに合わせた場面作りをし、日々の暮らしの中で楽しみができる様に工夫している。納涼祭に参加されるご家族へのお土産は、手作りの物にし、張り合いにもなっている。		
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者さんと職員1対1で近くの店に買い物に行ったりしています。また敷地内のお地蔵様の花の入れ替えやお水の交換をしています。	玄関前での日光浴や散歩、近所のスーパーでの買い物、希望の場所への外出、春秋には少し遠方への行楽行事など、日頃から気軽に外に出られるよう支援している。	
50	(22)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	玄関前で日光浴したり、散歩に出たり、希望に沿って出掛けたりしている。また、食材の買出しなどに同行して頂いている。帰宅願望などあれば、付き添って、気分転換を図っている。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員がお預かり金を管理しており、外出する時はそこから本人がお金を支払い買い物をされます。		
51		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人の希望に応じて、お金を所持・使用している。買い物や行事の時に、できる方には自分で払ってもらっている。		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	自由に電話がかけられるように支援しています。御家族にお願いし、手紙を書いていただき、返事を出せるようにしています。		
1F					
52		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じて、家族や大切な人に電話でお話できるように、支援している。		
2F					
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節感のあるインテリアを考えて飾り付けをしています。匂いや音、光にも配慮しています。不快な匂いが貯留しない様構造上工夫しています。	共用の空間には、明るい日差しが差し込み、不快な音や光はない。田園地帯にありながら近所には大型スーパーもあり、季節や田んぼの緑を満喫し、開放感が感じられる。対面式の厨房は生活感もあり、畳コーナーやソファ、少し離れた所の小さくつろぎコーナーは、利用者の居場所の確保につながっている。	
1F					
53	(23)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングに畳コーナーを設置し、ソファを置いたりし、好きな場所で寛げる様に配慮している。ベランダには、花や野菜が植えられ、周辺の田園風景が見渡せ、明るく開放的。台所は対面キッチンで、調理の様子や職員との対話もできる。壁に利用者さんの写真や作品も飾っている。		
2F					
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	テーブルを分けたり、ソファやベンチなど思い思いの場所で過ごせるようにしています。		
1F					
54		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングだけではなく、それぞれの居室や北側ベンチ・談話室など、思い思いの場所で過ごせるように努めている。		
2F					

グループホーム だんけぐーと

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	御自宅で使われていたもの、好みのものを持ち込まれ、安心して過ごせるように工夫しています。	自宅で使っていた馴染みの家具や生活用品が持ち込まれ、家族の写真や利用者が作った作品が飾られ、安心して過ごせるように工夫している。利用者の状況により家具の配置や洗面台の鏡に覆いをする等一人ひとりに応じた工夫をしている。	
55	(24)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かし、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の馴染みの物や、好みのものを持ち込まれている方がほとんど。居室に家族との写真を飾ったり、使い慣れた日用品を使用し、利用者の居心地の良い空間作りを心掛けている。		
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室に表札を付けたり、「トイレ」の張り紙などをして、できるだけ自立した生活が送れるよう工夫しています。		
56		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリー、クッションフロア、手すりの設置等。個人のたんすなど、どの引き出しに何が入っているかを分り易く表示し、自分で衣類を選んで着たり出来るように支援している。		

2. 目標達成計画

事業所名 グループホームだんけぐーと

作成日：平成23年 月 日

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	24		一人ひとりの思いや希望を知ること満足していただけるようなよりよいケアにつなげたい	入居者さん、ご家族としっかり話をして思いを聞き出す。 思いを感じとれるようにする。	12ヶ月
2	50	入居者さんが希望する日時に外出することがむずかしい	入居者さんが外出したい時に「後で」「待ってネ」と言わないですむようにしたい	等が出なくていいので、外にできるだけ出るようにする。 日々のスタッフの人配にもう少し気を配りたい。	12ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。